



# ASEAN諸国留学生奨学金

令和3年度事業報告書

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、新入奨学生が留学（入国）の延期を余儀なくされましたが、留学生別科はオンラインで授業を行い、奨学生17名は無事に留学生別科の全ての課程を修了し、学部に進学いたしました。

ASEAN奨学生交流会、企業見学会は、昨年に続き残念ながら中止となりましたが、ジャパン・スタディーズのインターンシップはオンラインで実施し、留学生別科の卒業式は、ハイブリッド形式で挙行いたしました。

本報告書では、令和3年度の事業内容、奨学生採用状況等をご報告するとともに、令和4年3月に卒業した第2期生からのメッセージを掲載いたします。

## 1. 奨学生募集活動・選考試験／その他

①対象国：インドネシア／カンボジア／タイ／ベトナム／フィリピン  
マレーシア／ミャンマー／ラオス

### ②募集活動・選考試験

第1期（3月募集）出願期間：2021年3月8日（月）～19日（金）

最終合格発表：2021年4月30日（金）

合格者数：7名（カンボジア1名／タイ2名／ベトナム4名）

第2期（10月募集）出願期間：2021年10月1日（金）～15日（金）

最終合格発表：2021年12月10日（金）

合格者数：8名（カンボジア1名／タイ3名／フィリピン1名／ベトナム2名  
ミャンマー1名）

**合格者合計：15名（カンボジア2名／タイ5名／フィリピン1名／ベトナム6名  
ミャンマー1名）**

## 2. 「ジャパン・スタディーズ」夏期インターンシップ

ASEAN奨学生が受講するキャリア教育科目「ジャパン・スタディーズⅠ」で、株式会社マイナビの協力を得て、夏季休暇中（8月9日～13日）にオンラインによるインターンシップ実習を実施いたしました。

留学生は3つのグループに分かれ、総合情報サービス企業である同社において、「就活生にとって魅力的なCMづくり」の企画提案を5日間で達成する業務に挑戦しました。11月19日には成果報告会を行い、同社の指導担当者からグループ毎に講評を受けました。



## 3. 留学生別科卒業式

日時：令和4年（2022年）3月15日（火）

会場：511教室（ハイブリッド形式）

ASEAN奨学生卒業生数：17名

（会場出席3名／オンライン出席14名）

式次第 留学生別科科长 餞の辞  
卒業証書授与 褒章授与  
担任祝辞 卒業生挨拶



## 4. 奨学生のクラブ活動参加（一例）

### ①ボクシング部



### ②ガムラン研究会



### ③留学生会





## 5. 年度別奨学生採用実績

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
<b>別科</b>	<b>3</b>	<b>9</b>	<b>12</b>	<b>14</b>	休校により合格保留	<b>17</b>	<b>15</b>	<b>70</b>
ベトナム	1	7	7	7		9	6	37
タイ	2	2	1	4		3	5	17
マレーシア	0	0	1	0		2	0	3
インドネシア	0	0	2	2		2	0	6
フィリピン	0	0	1	1		0	1	3
カンボジア	0	0	0	0		1	2	3
ミャンマー	0	0	0	0		0	1	1
<b>学部</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>4</b>
ベトナム	0	0	1	1	0	0	0	2
マレーシア	0	0	0	0	1	1	0	2
<b>合計</b>	<b>3</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>15</b>	<b>1</b>	<b>18</b>	<b>15</b>	<b>74</b>

## 6. 国籍別・学部別在籍奨学生人数表（令和4年4月1日現在）

		経営学部 経営学科				国際関係学部 国際関係学科				国際関係学部 多文化コミュニケーション 学科				都市創造学部 都市創造学科				別留 科学 生	合計
		1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年	1年	2年	3年	4年		
ベトナム	総数	5		2	4	3		4	1			1		1			3	6	30
	(女子)	(5)		(1)	(3)	(3)		(3)	(1)			(1)		(1)			(1)	(4)	(23)
タイ	総数	2						1		1		2					1	5	12
	(女子)	(2)						(1)		(1)		(2)					(1)	(3)	(10)
インドネシア	総数	1				1						1	1				1	0	5
	(女子)	0				(1)						(1)	(1)				(1)	0	(4)
マレーシア	総数	1								1	1						1	0	4
	(女子)	(1)								(1)	(1)						0	0	(3)
フィリピン	総数											1	1					1	3
	(女子)											(1)	(1)					0	(2)
カンボジア	総数													1				2	3
	(女子)													0				(2)	(2)
ミャンマー	総数																	1	1
	(女子)																	(1)	(1)
合計	総数	9	0	2	4	4	0	5	1	2	1	5	2	2	0	0	6	15	58
	(女子)	(8)	0	(1)	(3)	(4)	0	(4)	(1)	(2)	(1)	(5)	(2)	(1)	0	0	(3)	(10)	(45)

※カッコ内は女子内数

私は、中学生の時から日本に留学することを目指していました。高校3年のときASEAN奨学金を知り、ご支援をいただきました。これまでの5年間、亜細亜大学に通学することができ、誠に感謝しております。亜細亜大学のASEAN奨学金のお陰で、様々な企業見学の機会があり、先生方や普通なかなかお話をすることができない経営層の方々のお話も聴くことができ、多くの貴重な知識を学ぶことができました。また、授業の中では、日本人だけではなくいろいろな国の友達もできました。様々な価値観が混じる環境の中で勉強や交流をしたことで、自身の知見が広がったと感じております。

ASEAN奨学生としてこのような機会を設けて頂いたことで、充実した大学生活を過ごすことができました。親元を初めて離れて日本に来た私は、不安や分からないことが沢山ありましたが、インターナショナルセンターの先生達が小さなことも親切に教えて下さり、とても心強かったです。今では、私にとって先生達は日本の家族だと勝手に思っています。亜細亜大学で学んだ知識や経験を活かして、これから社会人として精進していきます。卒業しても、社会人になっても、この5年間の思い出は忘れません。

ASEAN奨学生第2期生

ダオ ホアン ラン アイン [経営学部卒]

就職先：株式会社トーコン（輸送：倉庫・運輸附带サービス）

出身校：チュン ヴォン高校（ベトナム）



この度、亜細亜大学ASEAN諸国留学生奨学金に採用していただき、5年間の手厚いご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。私は昔から日本のアニメとゲームが大好きでしたので、日本に留学して日本語を学ぶことが夢でした。母国の大学に在籍していたとき、亜細亜大学のASEAN奨学金制度を知り、申請したところ運よく選抜していただきました。

留学生別科に入学してからは、日本語の基本的な知識を学ぶことができ、また多くの国々の友達を作ることができました。その後、進学先には都市創造学部を選びました。興味ある分野を深く学ぶことができる今の環境は、とても充実しています。また、課外活動として、音楽バンドを組んだりライブを行ったりして、とても充実した幸せな日々を過ごしました。

亜細亜大学での5年間で、様々な知識や貴重な経験を得ることができました。最後になりましたが、ASEAN諸国留学生奨学金の受給者として採用していただき、重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

サウエットグロット・キティタッチ [都市創造学部卒]

就職先：株式会社デジタルハーツ（情報通信：ソフトウェア・情報処理・サービス）

出身校：カセサート大学（タイ）



私の将来の夢は、自分の会社を起業することです。亜細亜大学に入学する前、私は母国ベトナムで大学に通っていました。しかし、その大学では日本語と英語だけしか学ぶことができず、物足りなさを感じていました。

ASEAN諸国留学生奨学金をいただき亜細亜大学への入学を決めたとき、私は迷わず経営学部を選びました。入学してからの5年間で、日本語だけではなく、経営組織やマーケティングなど経営に関する専門知識を身につけることができました。さらに、アルバイトを通して日本人の働き方などもより深く理解できました。

また、日本に来てから様々なところに行ったり、様々な人と出会ったりするチャンスが増え、自分の視野が広がったと思います。このような経験ができたのは亜細亜大学と奨学金出資企業の皆様のおかげです。いつも心から感謝しております。早く夢を叶えるために、今まで学んだ知識、積んだ経験を活かして、卒業後も精一杯頑張っていきます。ありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

レー グエン バオゴック [経営学部卒]

就職先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社

(情報通信：ソフトウェア・情報処理・情報サービス)

出身校：フエ外国語大学 (ベトナム)



経営学部経営学科のグエン・ティ・ズンと申します。

新型コロナの蔓延により、母国のベトナムもまだ混乱が続いています。長い間、物質面および精神面で多くの心配を抱えている家族に会うこともできませんでした。一時帰国もできず、ひとり日本で暮らしていましたが、ASEAN諸国留学生奨学金のおかげで、亜細亜大学での4年間で無事に過ごすことができました。

日本に留学し、亜細亜大学留学生別科に入学してからの5年間で、知らない知識や異文化など多くのことを学ぶことができました。経営学部経営学科では、マーケティング、人材育成など、ビジネスに関する多くの専門知識を学びました。加えて、システム思考、意思決定スキル、チームリーダーシップスキル、経営管理および管理スキルについても学びました。

また、大学では多くの友達ができ、自分の知らない知識を得て人間の幅が広がりました。本当にたくさんの良い思い出ができました。

これからは亜細亜大学で学んだ知識・経験を活かして、ASEAN奨学金をいただけたことに感謝を込めて、社会人として頑張って活躍してまいります。どうもありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

グエン ティ ズン [経営学部卒]

就職先：株式会社ナナーズ (流通：飲食物品・食品スーパー)

出身校：ティエン・イエン高校 (ベトナム)



5年間、ASEAN諸国留学生奨学金のご支援をいただき、誠に感謝しております。

私は自分の視野を広げ、国際政治・経済の知識を身に付けたいと思い、国際関係学科を選びました。学科特有の資格取得にも興味を抱き、言語能力や専門分野の学習にも積極的に取り組んでまいりました。3年次には、インターンシップや就職活動が授業と重複するなど大変な思いもしましたが、成績を維持しながら無事に内定をいただきました。こうして学びたい勉学に集中でき、働きたいところで働けるのは、両親やASEAN奨学金の支援のお陰に他なりません。

家族と大学の留学生支援グループの先生たちは、私が怠けることなく学業に尽力できた心の支えでした。在学中、亜細亜大学は、自分のために良い成績を維持すること以外に、私に何も求めませんでした。私にとって、亜細亜大学及びASEAN奨学金は、家族のように頼れる存在でした。多くの方々から、私は「見返りを期待せずに与える」という美徳を学びました。

これからは社会の一員となり、世のため人のためという思いを忘れず社会に貢献するよう、精一杯頑張ります。どうもありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

ド ティ ホア バン〔国際関係学部卒〕

就職先：緑産株式会社（商社：機械器具・OA製品）

出身校：ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム）



日本語学習者にとって、日本に留学できることは夢だといっても過言ではなく、私も例外ではありません。亜細亜大学からASEAN諸国留学生奨学金をいただいて、私の夢と努力がようやく叶いました。留学生別科の1年間で、他国の友達と先生方と日本語を勉強したり、国際交流パーティに参加したり、夏休みにキャンプ、登山などの様々なことを体験したり、こんなに楽しい経験はこれまでありませんでした。また、国際関係学部多文化コミュニケーション学科に進学してから多くの日本人の友達ができ、学生生活が充実しただけでなく、日本語や異文化理解などについても、より深く学ぶことができました。これは亜細亜大学と奨学金出資企業の皆様がいなければ、実現できませんでした。

さらに、困ったときに助けていただき、貴重な機会を与えていただいた亜細亜大学と奨学金出資企業の皆様に心から感謝を申し上げます。卒業後は、亜細亜大学で学んだ知識を活かして頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

ファン ホアン ナム フーン〔国際関係学部卒〕

就職先：母国で就職活動

出身校：チュン・ヴォン高校（ベトナム）



新しい世界でチャレンジしたいと思い、来日し亜細亜大学で勉強することを決めました。過去を振り返れば、19歳の私は、いい成績をとるだけのために勉強に励んでいました。ASEAN奨学金を獲得できた時には、これが新しい自分を見つける大チャンスと思い、思い切って亜細亜大学に入学しました。

来日してからは、旅行や様々なアルバイトを経験し、日本語能力はもちろん人間関係づくりも上達しました。しかしそうは言っても、言葉の壁があり、バイト先でお互いに理解しあえずに苦労したことや、期末試験の前には毎日3-4時間しか眠れなかったこともありました。大変な時期があったからこそ、自分が少しずつ成長し、社会人としての原動力にもなっています。奨学金のおかげで、学校も学校以外の活動も両立できました。本当にありがとうございました。私は大学時代を満喫しました。これから、良い社会人となり、社会に貢献できるよう引き続き頑張ります。

ASEAN奨学生第2期生

ヴェィ デュー ホアイ [国際関係学部卒]

就職先：ニッセイ情報テクノロジー株式会社

(情報通信：ソフトウェア・情報処理・情報サービス)

出身校：ハノイ国家大学外国語大学 (ベトナム)



国際関係学部国際関係学科卒業のルオン・マイ・リンと申します。私は中学時代、ある日本の団体から経済的なご支援をいただき、非常に感謝を感じました。それをきっかけに、日本に留学する夢を持つようになりました。しかし、経済的に難しく、留学の夢は遠く感じていました。そんなとき、亜細亜大学のASEAN奨学金を知り申請しました。運よく合格させていただき、ようやく日本留学の夢が叶いました。

国際関係学科では、国際法や人権など様々な知識を学ぶことができ、特に女性差別の問題に取り組んできました。その知識を活かして、差別が深刻である現代社会でも、女性として仕事に活躍し続けたいと思います。また、亜細亜大学に留学することによって、奨学金の仲間達、ゼミの友達、大学の先生と職員の皆様とのすばらしい出会いができました。

以上のような貴重な経験を実現できたことは、亜細亜大学とASEAN奨学金のおかげです。心から感謝を申し上げます。この感謝の気持ちを込めて、亜大生として誇りをもって仕事に打ち込み、社会に貢献していきたいと思います。それは恩を受けた自分の恩返し行動です。5年間どうもありがとうございました。

ASEAN奨学生第2期生

ルオン マイ リン [国際関係学部卒]

就職先：株式会社プライセン (情報通信：ソフトウェア・情報処理・情報サービス)

出身校：ハノイ貿易大学 (ベトナム)



日本へ留学する前、私は自宅に閉じこもって勉強ばかりしていました。そのため、いつしか自分を中心に物事を考えるようになり、社会との繋がりを感じることができずにおりました。しかし、ASEAN諸国留学生奨学金を知り、審査に合格して日本に留学することを決めたとき、私の価値観が変わりました。

授業でのチームワークや、ゼミで出会ったクラスメート、アルバイト先で一緒に仕事を頑張っているスタッフ、そして様々なお客様と接することで、「誰かの役に立ちたい」と考え始めました。相手の力になることを通じて、社会との繋がりを実感できる瞬間こそ、生きがいを感じることを発見しました。卒業後も、日本留学で培われた価値観を生かし成長させて、多くの人々に関わる仕事で、立派な社会人として社会に貢献できるよう、今後も一層の努力を行ってまいります。

最後に、ASEAN奨学金を受給できたことは自分にとって本当に幸運でした。金銭的には、私費留学生より少し余裕を持って大学生活を楽しむことができました。留学生別科の1年間、そして経営学科の4年間の長きに渡り、ASEAN諸国留学生奨学金のご支援をいただきましたことを、心から感謝申し上げます。

ASEAN奨学生第2期生

チャン ミー リン〔経営学部卒〕

就職先：フォスター電機株式会社（メーカー：情報通信機械器具）

出身校：ハノイ国家大学外国語大学（ベトナム）





発行 学校法人亜細亜学園  
国際連携部インターナショナルセンター